

2024年度

JA 遠州中央ときめき保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月1日（水）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年1月27日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	・「おもいっきり遊ぶ。おもいっきり学ぶ。」の理念のもと、一人ひとりの興味・関心を汲み取ると共に、子どもにかけける言葉を意識し、じっくりと遊びこめる環境作りに取り組んだ。
子どもの発達援助	・小規模園ならではのアットホームな雰囲気大切にしながら、一人ひとりの思いを受け止め、発達に応じた適切な援助を心がけた。 ・表現活動を通して、感動や発見ができるような環境作りに努める。
保護者に対する支援	・送迎時のコミュニケーションでは、仕事と子育ての両立等を支援する為保護者の状況に配慮すると共に、寄り添い共感する事を大切にした。 ・子どもの成長を喜び合う事と併せ、引き続き子育てについて相談しやすい関係を築いていく。
保育を支える組織的基盤	・園内外での研修に積極的に参加し、研修で学んだ事を日々の保育に取り入れることで保育のスキルアップに繋げた。 ・日々のミーティングや会議を通して、共通理解を深めると共にその都度保育の見直しを図り、チームワークの向上に努めた。

総評
一人ひとりの子どもの思いに共感し、認め、安全に配慮しながら見守る姿勢で保育することや、心の基盤となる時期の関わりで何よりも安心できる環境作りを大切にした。 次年度も引き続き、子どもの思いを受け止め、のびのびと自己表現できたり主体的に活動できたりするよう、土台となる環境を整えていきたい。また、JA様との連携を密にし、季節の野菜作りなど園の特色である食育活動を通して、「楽しい食」への取り組みを継続していく。